

第619回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「ニュースエコー」

平成29年4月17日（月）

(株) I B C 岩手放送

第619回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年4月17日(月)午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 村井 康典 畠山 俊彰

澤口 たまみ 龍澤 尚孝

宮 順子 小松 務

欠席委員の氏名 岩田 圭司 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

宿輪 智浩 報道部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「ニュースエコー」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 全体的に県内のニュースが満遍なく扱われていて、大きな火災のようなニュースもあればほのぼのとしたニュースもあり、ローカルニュースらしさが出ていた。
- 特集がIBCらしさを一番発揮できる部分だと思う。水曜日の特集「復興への羅針盤」は、かなり長い間報道している意味では県民の認知度は高いと思う。今回は「逃げ地図」ということだったが、「防潮堤が決壊したか残ったかによって遡上の高さが違い、被害状況が異なった」との経験者の話は貴重なものではあるものの、もう少ししっかりと検証を入れないと誤解を招く恐れがあると感じた。
- 交通事故でしかも2歳の子どもが亡くなったという非常に痛ましい事故があったが、各局同様ではあるものの、現場路面の映像等の処理に心を砕いてほしい。キャスターの受けで一言気持ちを表現する等、生の声を生かす工夫も大事なのは。
- 食堂のレポートの中で「薄味だけでもきちんと塩味も大丈夫」というのがあったが、視聴者からすると果たしておいしいのかどうなのか、リポーターとしての感想も欲しいと思った。
- スタジオのアクティブボードを使った記者解説は、わかりやすく目新しさがあると感じた。ただ、キャスターの解説と変わらない一般的な内容だけではなく、バランスの問題は当然あると思うが、ある程度記者としての主観や記者の目も入れて欲しい。
- 夕方のニュースは各局大体同じ。各家庭どの局にチャンネルを合わせるか、どういうチョイスで選ばれているのかを考えるのは重要だと思う。「これこれだからIBCにチャンネルを合わせているんだ」という辺りの狙いをどういうふうに考えているのか。差別化、特徴がもっと見えてくれば良い。